

第13章 環境保全啓発事業・環境教育

1 環境保全啓発事業

(1) 環境月間

環境省では、環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とする1か月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しており、本市においても、環境月間の趣旨を市民・事業所等に啓発するため、各種の事業を実施しています。
 なお、令和4年度の行事は、表13-1(1)のとおりです。

表13-1(1) 環境月間行事内容

(令和4年度)

事業名	内容	場所等
広報いわき	環境月間の特集ページを掲載し、環境にやさしい生活を紹介しました。	広報いわき6月号
その他の広報活動	市公式 Facebook 等により環境保全の重要性を呼びかけました。	

(2) 再生可能エネルギー啓発事業

本市は、再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「目指そう！脱炭素社会 学ぼう再生可能エネルギー」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民への啓発事業を実施しています。



令和4年度作成副読本

2 環境教育・普及啓発の推進

(1) 環境アドバイザー派遣事業

本市は、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民が自発的な環境保全活動に取り組むにあたり参考となる知識を提供する「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。

表 13-2(1)-1 環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数(人)	派遣回数(回)	派遣人数(人)
平成30年度	1,783	36	51
平成31年度 (令和元年度)	1,700	43	50
令和2年度	1,085	38	50
令和3年度	805	26	33
令和4年度	1,614	51	59

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民の皆様が市内において、参加者10人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「いわき市環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は、開催予定日の30日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「いわき市環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問合せください。

【お申込みにあたって】

- ▼ 講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。
- ▼ 講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーで協議していただきます。
- ▼ 政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13-2(1)-2 環境アドバイザー派遣内容一覧

(令和5年3月末現在)

分類	講演内容	講師	
	幼児期の自然体験活動、自然観察会の企画・実施、フィールドワーク全般(植物・野鳥など)	草野 秀雄	
	「自然環境と人間とのかかわり」を基礎とした環境教育及びその支援	佐藤 烈	
	自然観察会の支援・指導、木工クラフトの支援・指導	鈴木 信一	
	木工クラフト、ペーパークラフト及び自然観察会の支援・指導	鈴木 晴美	
	自然観察を通じた環境・生物多様性の学習、里山の自然と人のかかわりについて	津崎 順	
	自然観察会指導、ネイチャーゲーム指導	古川 眞智子	
	自然観察会指導・森林ボランティア	鈴木 正明	
	ビオトープの創出・再生・保全の企画・実施、その必要性の講演	佐川 憲一	
	幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援及び指導	古口 英子	
	「里山と生活のかかわり」等を基本に体験学習や自然学習の企画・実施・支援	箱崎 和雄	
	幼稚園や小学校での総合学習・環境学習の支援、自然観察会を通じた自然の不思議発見のお手伝い	吉田 良子	
	河川環境と生活の関わりなどの環境教育及びその支援	吉田 真弓	
	幼児期の自然体験活動、小中学校での総合学習及び環境学習の支援・指導、その他自然観察会の企画・運営、森や里山と人との関わり、いわき市の林業の現状について、伐木体験、いわき市中山間地域との交流	馬場口 勝彦	
	いわきの山の紹介・案内、登山の知識・実技の普及啓発、野草・樹木等の自然観察指導	秋葉 信夫	
	小中学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、自然観察会の企画・実施	中野 憲二	
	小学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、農業体験(稲作)の支援・指導	斉藤 健	
	小学校における総合学習及び環境学習の支援・指導、その他自然観察会の支援・実施	鈴木 陽子	
	水質調査	河川の水質調査	橋本 孝一
		水生生物を主とした河川の水質調査の支援	吉田 真弓
		水質調査支援	平川 英人
自然エネルギー学習支援			
放射線		実験提示型出前授業による防災放射線環境学習支援	石川 哲夫
大気環境	星空観察及び天体観測の解説・指導、星空観察会の開催、光害の普及啓発活動	桂 伸夫	
生活環境	ごみ・リサイクル	家庭で出来る生ごみの減量と有効利用について、生ごみ堆肥化方法について	武田 憲子
	ごみ・リサイクル	廃棄物と3R	先崎 久美子
	河川環境	河川環境と生活とのかかわりについて	鈴木 一
都市環境	省エネルギー	省エネ出前授業、地球に優しい快適エコライフ!、スマートライフ、節電・節水と省エネ診断事例、環境経営システムと環境カウンセリング	橋本 孝一
	地球温暖化	地球温暖化問題と省エネルギー、環境と資源・エネルギー	鈴木 一
広域環境	地球温暖化	地球気候変動に伴う地球温暖化と日本のエネルギー問題、地球温暖化問題と再生可能エネルギー利用	石川 哲夫
	地球温暖化・エネルギー	地球温暖化問題、再生可能エネルギー利用、省エネルギーの方法	中西 恒雄

(2) 出前講座

本市は、環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに講師として市職員を派遣しています。

なお、令和4年度の実施状況は、表13-2(2)のとおりです。

表13-2(2) 出前講座等への講師派遣実績

(令和4年度)

事業名	目的	開催場所	参加者 合計人数
考えてください 生物多様性	生物多様性を守るために私たちにできることや、身近な外来生物・希少生物などについて学習する。	高坂小学校	59人
再生可能エネルギーって何？	地球環境にやさしい再生可能エネルギーの普及啓発を図るため、「なぜ再生可能エネルギーが必要なのか」について学習する。	郷ヶ丘小学校 四倉小学校 小川中学校 内郷第一中学校	334人
いわき市の環境“環境監視って何？”	大気、水質、騒音などの測定結果から、本市の環境の現況と環境保全への取組みについて説明する。	いわき秀英高等学校	10人

(3) せせらぎスクール

福島県では、毎年、身近な水辺環境を見直し、水質保全への関心を一層高めるために、「水生生物による水質調査」の参加団体を『せせらぎスクール』として募集しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 小・中学生、高校生、市民団体等
- ② 実施時期 4月～10月
- ③ 活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている29種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④ 教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要な教材が提供されます。

(4) こどもエコクラブ

公益財団法人日本環境協会では、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブの支援事業を実施しており、本市は、地域事務局・コーディネーターとして市内のクラブを支援しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 幼児、小・中学生、高校生
- ② 実施時期 通年
- ③ クラブの設立方法

- 1 人から登録可能
- こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
- サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が 1 人以上

④ 教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

(5) 星空観察会(スターウォッチング)

いわき天文同好会では、星空の観察という身近な方法を通して大気環境保全についての意識高揚を図ることを目的に、毎年 2 回（夏期及び冬期）実施しています（いわき市共催）。

なお、令和 4 年度は、新型コロナウイルスの感染症の影響を考慮し、夏期及び冬期ともに中止となりました。

(6) 緑のカーテンコンクール

本市は、地球温暖化対策の一環として、ツル性の植物を建物の壁や窓の外側に覆わせ、日よけ効果や夏季の節電効果がある「緑のカーテン」の普及を図ることを目的に、緑のカーテンコンクールを開催しています。

家庭、店舗・事業所、学校の 3 つの部門で出来栄を競い、優れた取組を表彰し、緑のカーテンの取組として広く紹介しています。

本事業は平成 25 年度から開催しており、令和 4 年度は 21 件の応募がありました。



(7) 「いわき子ども環境賞」コンクール

いわき地域環境科学会では、子どもたちの環境保全に対する理解を深め、また、意識高揚を図ることを目的とし、市内の小中学生を対象とした地球温暖化対策キャッチフレーズを夏休みの課題として募集し、その作品を表彰・発表する事業を実施しました。(いわき市共催)

令和4年度については、小学生部門・中学生部門の中から1作品を、市全体でカーボンニュートラルに取り組むための合言葉となる『地球温暖化対策キャッチフレーズ』として選定いたしました。

なお、令和4年度の実施状況及び受賞作品は、表13-2(7)-1~2のとおりです。

表13-2(7)-1 第19回「いわき子ども環境賞」コンクールの実施状況

応募作品数	応募者数	応募学校数	受賞者数
388 作品	261 名	合計 18 校 (小学校 12 校、中学校 6 校)	合計 18 名 (最優秀賞 2 名、優秀賞 6 名、佳作 10 名)

表13-2(7)-2 第19回「いわき子ども環境賞」コンクール受賞作品一覧

最優秀賞(2作品)

★脱炭素 地球みんなで 挑戦者	錦中学校 1年	まつもと 松本	りさ 理沙さん
省エネで 地球を 守るお手伝い	宮小学校 3年	すずき 鈴木	りゅうのすけ 龍之介さん

優秀賞(6作品)

ぼくやるよ 脱炭素化は ぼくの時代	草野小学校 1年	こむろ 小室	ほうじゅ 鳳寿さん
太陽光 しろくま救う ちきゅうも救う	中央台東小学校 1年	よもぎた 蓬田	りこ 倫子さん
地球も熱中症から守ろう	中央台東小学校 6年	ししど 宍戸	れき 玲生さん
リサイクル 脱炭素化の 始発駅	錦中学校 3年	むなかた 宗像	まなと 真叶さん
温暖化 人が変われば 地球も変わる	錦中学校 3年	さとう 佐藤	かえで 栞葉さん
Do it now 温暖化対策	上遠野中学校 3年	おおはた 大畑	ねね 寧音さん

佳作(10作品)

温暖化 止められるのは 自分達	中央台東小学校 6年	もちぢ 持地	こは 心羽さん
温暖化 だれが止めるの 自分でしょ!	錦中学校 1年	うえだ 植田	たすく 丞さん
目ざせだつたんそ がんばれ自ぜんエネルギー	中央台東小学校 4年	ほんどう 本藤	けいと 慶人さん
さあ、始めよう。世界と繋ぐ 未来へ繋ぐ green活動	中央台北中学校 3年	さとう 佐藤	ななみさん
ごみぶんべつ ちいさなわたしにできること	湯本第三小学校 1年	きのした 木下	ゆづき 優月さん
終わらそう! 気候変動 僕らの手で	錦中学校 3年	かしわ 柏	ひめ乃さん
ぼくの地球 ぼくが進んで エコ活動	好間第二小学校 5年	こんの 紺野	ゆうが 悠賀さん
その後の地球は何色ですか	上遠野中学校 1年	しもやまだ 下山田	れん 怜さん
持続可能な社会へ みんなでつなごう 未来へのパトン	中央台東小学校 6年	おしべ 押部	せいら 星來さん
持続可能な社会へ。地球を守ろう。未来を守ろう。	内郷第一中学校 2年	わかもと 若本	ともか 知香さん

★：地球温暖化対策キャッチフレーズとして選定

(8) 野生生物生息生育状況調査（生き物調査）

本市は、生物多様性に関する理解や自然環境保全意識の向上を図るとともに、市内の野生生物の生息・生育状況を把握し、各種環境施策へ活用することを目的に、平成28年度より、市民参加型の生き物調査を実施しています。

また、日ごろ、自然に触れる機会の少ない大人や小学生を対象として、自然観察に必要な知識を学んでもらい、実際の生き物調査に活かしてもらうため、自然探訪会を開催しています。

なお、令和4年度の実施状況は、表13-2(8)-1~2のとおりです。

表13-2(8)-1 生き物調査実施状況

調査期間	調査対象種(生態系被害防止外来種)
6月1日~11月30日	12種類(オオキンケイギク、アレチウリ、オオハングソンソウ、ナルトサワギク、セイタカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ(ミドリガメ)、アライグマ、ハクビシン)

表13-2(8)-2 自然探訪会実施状況

場所	参加者数
いわき市林業研修センター湯の岳山荘(夏)	29人
いわき市フラワーセンター(秋)	23人
関伽井嶽(秋)	17人
いわき市林業研修センター湯の岳山荘(秋)	20人

地球のいのち、つないでいこう
生物多様性

令和4年度いわき市生き物調査結果報告書(全体概要版)

1 調査概要

- 調査期間：令和4年6月1日~令和4年11月30日
- 調査場所：いわき市内全域
- 調査実施者：いわき市内の小中学生、市民、事業者及び市職員
- 調査対象種：オオキンケイギク、アレチウリ、オオハングソンソウ、ナルトサワギク、セイタカアワダチソウ、アカボシゴマダラ、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ウシガエル、アカミミガメ(ミドリガメ)、アライグマ、ハクビシン

2 調査結果 ※赤字：外来生物法の特定外来生物

【市内全域における外来種の報告数上位5種】

外来種	R4	R3(参考)	増減
第1位 セイタカアワダチソウ	569件	456件	増
第2位 オオキンケイギク	297件	222件	増
第3位 アメリカザリガニ	251件	212件	増
第4位 アレチウリ	250件	196件	増
第5位 アカボシゴマダラ	242件	185件	増

【市内各地区における外来種の報告数上位5種】

早稲地区	小浜田地区	物産地区	笠置地区	内郷地区
第1位 セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ	セイタカアワダチソウ
第2位 オオキンケイギク	アカボシゴマダラ	オオキンケイギク	オオキンケイギク	オオキンケイギク
第3位 アメリカザリガニ	オオキンケイギク	アカボシゴマダラ	アカボシゴマダラ	アレチウリ
第4位 アレチウリ	ウシガエル	アレチウリ	ナルトサワギク	アカボシゴマダラ
第5位 アカボシゴマダラ	アメリカザリガニ	ウシガエル	アレチウリ	ナルトサワギク

※(例) 早稲地区と小浜田地区については、両地域の報告数がありまされた。



夏の親子自然探訪会の様子

令和4年度いわき市生き物調査結果報告書(全体概要版)

(9) 環境まちづくり担い手育成支援事業（公募提案事業）

本市は、環境に関する市民の意識醸成を図ることを目的とした環境学習等の充実を図るとともに、環境保全活動等の実践者を支援するため、その手法について公募し、選定された応募者が、公募テーマに沿った事業を実施しています。

なお、令和4年度の実施状況は、表13-2(9)のとおりです。

- ① 公募条件：営利を目的としない、提案内容を実施可能な団体（法人格を問わない。）
- ② 公募テーマ
 - 再生可能エネルギー
 - 生物多様性
 - 気候変動（地球温暖化を含む。）
 - 省エネルギー

表 13-2(9) 環境まちづくり担い手育成支援事業(公募提案事業)実施状況

採 択 団 体	業 務 概 要	業 務 内 容
NPO 法人いわき環境研究室	学校及び地域における環境学習の実践と指導者育成	自然エネルギーの特徴、カーボンニュートラル等についての、講義や各種実験等での体験的な講座。更に、指導に当たる人材の育成。。